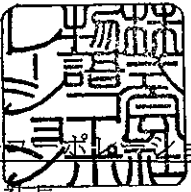


新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）、
及び新規上場申請のための四半期報告書の適正性に関する確認書

平成 22 年 6 月 4 日

株式会社東京証券取引所

代表取締役社長 齊藤 惇 殿

会社名 株式会社物語  印

代表者の 代表取締役社長

役 職

氏名(署名) 小林佳雄 

当社の代表取締役（代表執行役）社長である小林佳雄は、新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）、新規上場申請のための四半期報告書に不実の記載がないものと認識しております。

1. 新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）及び新規上場申請のための四半期報告書の作成にあたり、「企業内容等の開示に関する内閣府令」、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」、「四半期連結財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」及び「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」等の関連法令に基づき、全ての重要な点において適正に記載されていることを確認しております。
2. 新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）及び新規上場申請のための四半期報告書を適正に作成するために、以下のとおり内部管理体制が構築され、機能していることを確認しております。
 - (1) 業務分担と責任部署が明確化されており、各責任部署において適切な業務体制が構築されております。
 - (2) 毎月 1 回開催されております定時取締役会及び必要に応じて開催する臨時取締役会において、各取締役より、業務遂行の状況の報告を受けるとともに、社内規定において取締役会決議事項に定められている事項について意思決定を行っております。
 - (3) 監査役会は、取締役会への出席、監査役監査の実施、日常の情報収集を通じ、取締役の職務執行が適切に行われていることを確認しております。
 - (4) 内部監査室は、代表取締役社長の直轄組織として、他の業務執行部門から独立して定期的に内部管理体制の適正性や有効性の検証及び業務監査を実施しており、指摘事項や改善状況等について、その結果を経営者に報告する体制が構築されております。
 - (5) 監査法人トーマツによる監査において、新規上場申請のための有価証券報告書（Ⅰの部）及び新規上場申請のための四半期報告書の記載内容について、重要な指摘事項がないことを確認しております。